

監督者研修Ⅱ

目的

監督者としての職責を再認識するとともに、組織運営を的確に行うために必要な能力の向上を図ります。

科目

(1) 監督者としての組織マネジメント 【會田 慶宏】

自らが監督する職員の能力向上や、チームが効果的で能率的に業務を遂行するため必要となるマネジメント技法を習得します。

- マネジメントの基本理念
- 効果的なチーム運営を行う具体的な取り組み手法
- 職場を活性化させる監督者としての役割
- 部下育成
- メンタルヘルスケア（ラインケア）
- ハラスメント

(2) 意思決定のプロセス 【内藤 悟】

意思決定にあたっての基本的な思考パターンを学び、問題を合理的に解決する意思決定能力を習得します。

- 意思決定の概要とプロセス
- 情報の把握・整理の手法
- 原因分析や問題の構造化等の手法
- 組織における決定を行う際の留意点

対象・日程等

対象者：係長昇任後3～5年程度の職員

日程：

A日程 令和6年 6月26日(水)～ 6月28日(金)

B日程 令和6年 7月10日(水)～ 7月12日(金)

C日程 令和6年 9月25日(水)～ 9月27日(金)

D日程 令和6年12月23日(月)～12月25日(水)

E日程 令和7年 1月22日(水)～ 1月24日(金)

定員数：300人（60人×5日程）

場所：東北自治総合研修センター

受付時間：午前8時50分～9時20分

準備物

特にありません。

その他

以下の科目に事前課題があります。

- ・ 監督者としての組織マネジメント
- ・ 意思決定のプロセス

講師

あいた よしひろ
會田 慶宏

(株) 日本マネジメント協会
マネジメントコンサルタント

ないとう さとる
内藤 悟

(株) インソース 講師



■ 担当研修
「監督者としての組織マネジメント」

■ 経歴
金融機関、公益法人を経て現職。「経営は人、人はモチベーション」をモットーに、産業・組織心理学の観点から、各種研修やコンサルティング等を実践している。特に、コーチング、DISC、アサーション、ファシリテーション、クレーム対応、インストラクター養成等の講師として幅広く活躍している。



■ 担当研修
「意思決定のプロセス」

■ 経歴
昭和62年 大手旅行会社に入社。
平成2年 オーストラリア本社の旅行会社に入社。ゴールドコースト本社、カスタマーサービスマネージャーとして、年間約3万人に及ぶお客様への観光案内、問題・苦情処理、オプションツアーの企画・販売、ツアーデスクの管理運営、ツアーガイド(30名)のアサイン、並びに教育育成。シドニー支店長として活躍。その後、ケアンズ支店、北部クイーンズランド州支配人として観光地開発と人材開発を担当。
平成20年 株式会社インソース講師に就任。

タイムスケジュール

	9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00	16:30	17:00
1日目	開講式 朝エンターテイン		(1) 監督者としての組織マネジメント	休 憩	(1) 監督者としての組織マネジメント	宿泊朝エンターテイン		
2日目	(2) 意思決定のプロセス				(2) 意思決定のプロセス			
3日目	(2) 意思決定のプロセス				(2) 意思決定のプロセス	閉講式		